



## 2022年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月1日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7446 URL <https://www.t-kagaku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 康之  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理グループ長 (氏名) 磯辺 譲 (TEL) 0172-33-8131  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年9月期第1四半期の連結業績(2021年10月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第1四半期	9,042	5.5	214	58.3	228	55.4	148	52.7
2021年9月期第1四半期	8,574	15.5	135	453.8	147	319.9	97	630.7

(注) 包括利益 2022年9月期第1四半期 153百万円(△11.8%) 2021年9月期第1四半期 174百万円(35.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第1四半期	163.69	—
2021年9月期第1四半期	105.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年9月期第1四半期	18,135	6,342	34.6	6,973.51
2021年9月期	16,128	6,281	38.6	6,829.86

(参考) 自己資本 2022年9月期第1四半期 6,283百万円 2021年9月期 6,228百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	105.00	105.00
2022年9月期	—	—	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	0.00	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,150	△6.2	344	△23.3	360	△22.7	242	△25.1	265.89
通期	33,800	△6.7	578	△18.9	611	△19.5	433	△16.1	475.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期1Q	960,000株	2021年9月期	960,000株
② 期末自己株式数	2022年9月期1Q	58,977株	2021年9月期	47,977株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期1Q	906,403株	2021年9月期1Q	922,673株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、企業収益の悪化や個人消費の減速などありましたが、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み感染状況も収束が見られ、景気は持ち直しに向かうものの、新たなオミクロン株により、状況は一変いたしました。今後も国内外の新型コロナウイルス感染症の動向、国内景気への影響など、先行き不透明な状況が続いており、予断を許さない状況にあります。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境の変化に対応するため体質を強化し、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前年同四半期と比べ、売上高は、90億42百万円と4億67百万円（前年同四半期比5.5%）の増収、営業利益は、2億14百万円と78百万円（前年同四半期比58.3%）の増益、経常利益は、2億28百万円と81百万円（前年同四半期比55.4%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1億48百万円と51百万円（前年同四半期比52.7%）の増益となりました。

各セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

#### (化学工業薬品)

化学工業薬品は、主力であります半導体を含むエレクトロニクス産業が引き続き堅調に推移し、前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、分析機器の受注が増加したこともあり前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、全体で44億38百万円と2億42百万円（前年同四半期比5.8%）の増収、セグメント利益(売上総利益)は、4億8百万円と73百万円（前年同四半期比22.0%）の増益となりました。

#### (臨床検査試薬)

臨床検査試薬は、競争激化の影響もありましたが、新型コロナウイルス感染症関連の検査試薬が増加したことなどにより、前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、分析機器等の受注が増加して、前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、全体で37億61百万円と2億65百万円（前年同四半期比7.6%）の増収、セグメント利益(売上総利益)は、3億55百万円と39百万円（前年同四半期比12.5%）の増益となりました。

#### (食品)

食品は、原料不足や新型コロナウイルス感染症による製造量減少などの影響により、前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、8億22百万円と43百万円（前年同四半期比△5.0%）の減収、セグメント利益(売上総利益)は、64百万円と3百万円（前年同四半期比△5.3%）の減益となりました。

#### (その他)

その他は、農薬、肥料の早期納品したことにより、前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、20百万円と2百万円（前年同四半期比17.0%）の増収、セグメント利益(売上総利益)は、リポートの増加などで11百万円と6百万円（前年同四半期比117.3%）の大幅な増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、20億7百万円増加し、181億35百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、19億46百万円増加し、117億93百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、60百万円増加し、63億42百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

#### (資産)

資産の増加の主な要因は、現金及び預金が13億63百万円、受取手形及び売掛金が4億92百万円及び商品が1億35百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

負債の増加の主な要因は、未払法人税等が73百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が17億81百万円及び短期借入金が1億78百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産の増加の主な要因は、自己株式の取得により35百万円減少したものの、利益剰余金が90百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第1四半期までの業績動向を踏まえ、2021年11月12日に公表した2022年9月期の第2四半期累計期間及び通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	799,184	2,163,165
受取手形及び売掛金	8,528,957	9,021,477
電子記録債権	205,909	257,174
商品	1,030,432	1,166,221
リース投資資産	128,231	125,887
その他	310,284	318,124
貸倒引当金	△1,875	△2,112
流動資産合計	11,001,124	13,049,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	505,459	498,641
土地	1,495,006	1,495,006
リース資産（純額）	141,669	136,062
その他（純額）	320,751	323,124
有形固定資産合計	2,462,885	2,452,833
無形固定資産		
リース資産	13,904	10,428
その他	8,292	7,896
無形固定資産合計	22,197	18,324
投資その他の資産		
投資有価証券	1,710,775	1,717,293
リース投資資産	200,674	169,971
その他	756,285	752,735
貸倒引当金	△25,372	△25,358
投資その他の資産合計	2,642,363	2,614,640
固定資産合計	5,127,446	5,085,799
資産合計	16,128,570	18,135,737

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,811,196	9,592,902
電子記録債務	285,833	318,802
短期借入金	156,200	334,600
1年内返済予定の長期借入金	14,280	14,280
リース債務	179,529	170,818
未払法人税等	137,276	63,716
賞与引当金	57,450	12,300
その他	256,280	359,767
流動負債合計	8,898,046	10,867,188
固定負債		
長期借入金	55,970	52,400
リース債務	308,671	274,716
繰延税金負債	310,294	326,234
退職給付に係る負債	99,801	99,898
役員退職慰労引当金	123,541	123,875
その他	50,532	48,827
固定負債合計	948,811	925,952
負債合計	9,846,857	11,793,140
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	3,894,043	3,984,966
自己株式	△133,566	△168,907
株主資本合計	5,461,977	5,517,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	771,562	770,420
退職給付に係る調整累計額	△4,551	△4,686
その他の包括利益累計額合計	767,011	765,733
非支配株主持分	52,724	59,303
純資産合計	6,281,712	6,342,596
負債純資産合計	16,128,570	18,135,737

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2021年12月31日)
売上高	8,574,750	9,042,324
売上原価	7,850,636	8,202,483
売上総利益	724,114	839,841
販売費及び一般管理費	588,762	625,576
営業利益	135,351	214,264
営業外収益		
受取利息	433	917
受取配当金	8,784	10,965
受取手数料	1,666	1,458
その他	3,146	4,056
営業外収益合計	14,030	17,398
営業外費用		
支払利息	266	308
支払手数料	1,811	2,167
その他	121	410
営業外費用合計	2,200	2,886
経常利益	147,182	228,777
特別利益		
投資有価証券売却益	13,332	206
特別利益合計	13,332	206
特別損失		
固定資産除却損	27	53
投資有価証券売却損	16	—
投資有価証券評価損	19,847	—
会員権評価損	625	—
特別損失合計	20,517	53
税金等調整前四半期純利益	139,997	228,930
法人税、住民税及び事業税	21,717	58,331
法人税等調整額	15,206	15,540
法人税等合計	36,924	73,871
四半期純利益	103,073	155,059
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,928	6,688
親会社株主に帰属する四半期純利益	97,144	148,370

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	103,073	155,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70,834	△1,142
退職給付に係る調整額	430	△134
その他の包括利益合計	71,265	△1,277
四半期包括利益	174,339	153,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	168,296	147,202
非支配株主に係る四半期包括利益	6,042	6,579

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

・代理人取引に係る収益認識

保守に係る収益について、従来は、顧客から受け取る対価の総額で収益を認識しておりましたが、顧客に移転する財又はサービスを支配しておらず、これらを手配するサービスのみを提供しているため、代理人取引であると判断した結果、総額から第三者に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識する方法に変更しております。

・一時点で充足される履行義務

保守に係る収益について、従来は、一定の期間にわたり充足される履行義務として収益を認識しておりましたが、財又はサービスを顧客に移転し当該履行義務が充足された一時点で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用につきましては、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は25百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は38百万円増加しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,196,188	3,495,197	865,935	17,428	8,574,750	—	8,574,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,196,188	3,495,197	865,935	17,428	8,574,750	—	8,574,750
セグメント利益	334,779	315,877	68,167	5,289	724,114	—	724,114

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,438,315	3,761,094	822,520	20,394	9,042,324	—	9,042,324
外部顧客への売上高	4,438,315	3,761,094	822,520	20,394	9,042,324	—	9,042,324
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,438,315	3,761,094	822,520	20,394	9,042,324	—	9,042,324
セグメント利益	408,331	355,449	64,564	11,496	839,841	—	839,841

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。